

全国大会報告

第89回 全国高等学校ラグビーフットボール大会

お礼のご挨拶

この度は札幌山の手高校ラグビー部の花園出場に際しまして、多数の同窓生、学校関係者、ラグビー関係者、並びに地域の皆様から暖かい励ましと多大なるご芳志を頂きました。ここに心よりお礼を申し上げます。本校ラグビー部が10年連続で花園に出場することが出来たのも、皆様からご支援を頂いた賜と感謝いたします。

1回戦は山口県代表・萩商工高校と対戦、21対19で逆転勝利し、見事に3年前のリベンジを果たしました。2回戦はシード校、千葉県代表・流通経済大学付属柏高校との対戦となりました。前半から流通柏FWの威力に押され受けに回ってしまい、最後まで流れを取り戻すことができず0対41で敗れてしまいました。

現在新チームはこの試練を乗り越えるべく一致団結し、日々厳しい練習に取り組んでいます。

最後に、ご支援を賜りました全ての方々に深く感謝申し上げます。そして今後更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、お礼のご挨拶といたします。

札幌山の手高等学校 校長 西岡 憲廣
札幌山の手高校ラグビー部後援協賛会 会長 菅生 春彦

試合結果

▽1回戦 12月28日 花園第Ⅱグラウンド

札幌山の手(北海道) 21 - 19 萩商工(山口)

1	トライ	2	萩商工がFWを中心とした勢いのある縦突進で圧力をかけた。札幌山の手は後半20分、S O佐藤のキックパスをWTB越中が左隅に押さえトライ。難しいゴールを応援団の見守る目の前で佐藤が見事に決め、逆転に成功した。
1	ゴール	1	
0	PG	0	
7	前半	12	
2	トライ	1	
2	ゴール	1	
0	PG	0	
14	後半	7	
21	合計	19	

▽2回戦 12月30日 花園第Ⅰグラウンド

札幌山の手 0 - 41 流通経済大柏(千葉)

0	トライ	2	序盤から流通柏FWのモールを止められず、ずるずると失点を重ねてしまった。FLのジョシュア主将は徹底してマークされ前に出られず、BKは素早い出足のDFにプレッシャーを受け、思うような展開に持ち込めなかった。
0	ゴール	2	
0	PG	0	
0	前半	14	
0	トライ	5	
0	ゴール	1	
0	PG	0	
0	後半	27	
0	合計	41	



後半6分、相手DFを引きずりながら中央へ4点トライを決める札幌山の手佐藤

2009年(平成21年)12月29日(火曜日)
北海道新聞



後半終了直前、札幌山の手越中(手前左)が相手陣内に攻め込むが、防がれる

2009年(平成21年)12月31日(木曜日)
北海道新聞

平成21年度 全国大会出場協賛金決算

収入の部

1.	寄付金	1,368,000
2.	父母会負担	4,475,000
3.	生徒会	5,040,500
	合計	10,883,500

支出の部

1.	1次合宿	1,090,825
2.	2次合宿	1,072,910
3.	3次合宿	3,309,570
4.	本大会	3,926,510
5.	装具費	1,222,244
6.	事務費	11,6635
7.	その他	83,000
	合計	10,821,694

収支差引額 61,806 円

この度はラグビー部の全国大会出場にあたり、数百名の方々から心温まるご支援をたまり、有り難うございました。今後とも、本校ラグビー部へのご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。残金につきましては、次年度の強化費として使わせて頂きます。

事務局長 藤井 栄人

花園観戦記

札幌山の手高校ラグビー部父母会会長 佐藤 公昭

12月27日(日)よ東大阪近鉄花園ラグビー場で第89回全国高校ラグビーフットボール大会の開催です。前日、北海道から大阪に移動。昨年の朝からの吹雪とは裏腹に夕方に天候が崩れる空模様。それでも何とかそれぞれが無事大阪に着き、翌日の開会式を観ました。午後から行われている他校の1回戦を観戦しつつ、全国大会の雰囲気をも味わいながら、その日は会場を後にし、夕方には理事長先生はじめ監督・コーチ、応援に来ていた皆様と1回戦突破を祈念して杯を傾け、気持ちを盛り上げ、選手諸君の健闘を確信して翌日の1回戦の応援へいざ出陣!!!……。

1回戦の対戦相手は、『萩商工』。事前に報道されているように、現在大学及び日本代表として活躍しているマイケル・リーチ擁する山の手高校と3年前、一回戦・第3グラウンドで戦い、涙をのんだ高校です。その時は霧が降り、風強で凍えるような天候でしたが、今年は風がやや強いものの良好です。第2グラウンドは、花園の中では一番風が舞わない、比較的一方向に吹くグラウンドなので風上・風下での戦法を誤らなければ計算できる状況です。

前半、風下でキックオフ。『萩商工』がチャンスのはずは萩商工の応援団から、『山の手』がチャンスのはずは山の手応援団から、代わる代わる歓声の上がる一進一退のシーソーゲーム。小さなグラウンドだけに相手の応援もダイレクトに聞こえ、選手との距離も非常に近く選手の緊張感と気迫を感じながらの応援です。前半5点のビハインド。十分射程圏内。手ごたえを感じながら、選手の表情もようやく緊張感もほぐれ始め、焦りの色なし。風上の後半はスルスルと行くかと思えば、さすがに全国大会、相手もクラブ史上最強のチームと地元で評判なだけあって、前半同様一進一退の好ゲーム。全身全霊をかけた選手への応援。応援の主役は、やはりお母様達。圧倒的に人数では不利な状況ですが、大きな声で、歓声や悲鳴で一步も引けの取らない応援。しっかり選手の後押し・励みになっていました。でも、些か酸欠状態かと思われるほどの息を飲むシーンの連続。試合が終了時には、皆さん喉乾はカラカラ、ぐったりしておりましたが、2点差、僅差を制して勝利した選手に惜しめない拍手と、心地よい勝利の感触を味わっていました。また、OB会から寄贈いただいた真新しい大横断幕のデビュー戦を白星で飾って一安心でした。

1日空いて2回戦、30日は(憧れ?)の第1グラウンド。スコアボードの電光掲示板に“山の手”の文字が点灯します。対戦相手は『流経大柏』。もちろんシード校です。今年のチームは、1回戦さえ勝てれば…みたいな期待を胸に、勝ったら飛行機・宿泊の手配は…などと要らぬ心配を目一杯しながら、バックスタンド応援席にみんなで陣取りスタンバイOK!!試合開始です。試合は、『流経大柏』の大型フォワードを中心に主導権を握られ終始劣勢。要所に山の手らしい好プレーも見られましたが、最後まで流れを呼び込めず敗戦。昨年卒業したOBの方々の力強い応援もいただき、1回戦同様、声を枯らしての応援を送りましたが、今年の花園は、ノーサイドのホイッスルと共に終了しました。

花園グラウンドの食堂で、熱燗とタックルカレーを食べながら、“終わったな〜”と選手のような心境に浸りながら、毎年ここ花園へ連れて来ていただけた幸せを、選手と指導してくださっている監督はじめコーチの皆様、また山の手高校に感謝しつつ、2回戦突破の目標は、新チームに託して花園を後に一路雪の北海道へ。



「やったー」。後半20分、観戦選手のトワイに立ち上がり喜びを叫ぶ山の手応援団

東大阪市の花園ラグビー場で28日に行われた第89回全国回戦で、3年前に敗れた萩商工(山口)に雪辱を果たした山の手高。21-19の劇的な逆転勝ちで、スタンドに駆けつけ応援団は喜びを叫び続けた。

「やったー!」歓喜

劇的逆転、父母ら応援団沸く

北海道新聞 2009年(平成21年)12月29日(火曜日)

遠征メンバー

学年	氏名	ポジション	身長	体重	学年	氏名	ポジション	身長	体重	学年	氏名	ポジション	身長	体重
3	安田 洲悟	PR	181	88	3	佐藤 潤貴	SO	184	74	2	中村 友大	SH	161	60
3	赤木 貴幸	PR	173	90	3	中島 翔	SO	169	63	2	斎藤 一心	SO	179	70
3	松下 幸謙	PR	169	75	3	津越 航大	CTB	173	75	2	丹野 怜央	CTB	172	75
3	横山 正人	HO	173	83	3	越中 拓真	WTB	170	70	2	横上 和弘	CTB	174	68
3	三浦 椋太	LO	180	70	2	八木橋 翔平	FB	181	73	2	浅沼 昌熙	WTB	172	72
3	榎澤 崇真	LO	184	86	2	梅田 健太	PR	168	105	2	村田 圭介	FB	175	78
3	加藤 卓也	LO	181	77	2	板垣 翔太	LO	183	85	1	轉山 拓己	HO	175	85
3	ジジョア・EITO	FL	184	87	2	滝澤 健太	LO	190	93	1	長井 洸太	LO	178	75
3	轉山 一輝	FL	173	67	2	君嶋 航平	LO	174	67	1	伊藤 優駿	CTB	168	75
3	山口 優	No.8	182	80	2	宮坂 京介	FL	172	75	1	芝木 天馬	CTB	176	77
3	寺内 一樹	SH	163	65	2	弘法 洋	No.8	187	92	1	久保 匠	WTB	172	68